

IR ニュース



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

2019年4月 <第3号>

巻頭言

福山大学 IR の本格的運用に向けて

IR の今年度の目標は、学内外のデータ収集に基づき、全学の意思決定を行う際のデータを誰もが共通の形で利用できるように、IR 専用領域をキャビネット Karin に構築することです。IR 専用領域の枠組みは、大区分として「教学」「研究」「財務・経営」の3つに分けることを想定して、区分毎に大学の意思決定のエビデンスとなる IR 指標を各部局の協力を受けて選定しています。

選定作業中の IR 指標集が完成すれば、各指標の算出方法を確定し、その算出に必要なデータを収集していきます。それらのデータは、相互の関係性を明らかにするために SPSS、AMOS、HAD といった統計ソフトによる分析も行います。多変量解析では、複数の指標に関するデータをもとに、お互いの変数間の相互関連を分析して、福山大学の現状を表す「要約」と、これからの大学の方向性を決めるための「予測」に関する情報を把握したいと思います。この「要約」と「予測」の可視化に役立つのが、BI ツールと言われるもので、本学では Tableau を採用しました。

また、全学教職員への情報提供として、Karin に例規集、各種申請書・届出書の様式、研究関連ガイドブック、危機管理基本マニュアル等を保存する領域を新たに開設します。Karin は外部からのサイバー攻撃に頑健でバックアップ機能もあるため、会議資料の事前配布、Karin をベースとした電子会議、電子決裁などにも対応できると考えています。2019年4月から始まった「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」の実現のため、さまざまな効率アップを図る試みにも直結させていきたいと思っています。

最後に、毎回のようにお願いしていますが、IRer を募集しています。実際の大学データに基づく、IR 研究としても発展させることが可能かと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

学長補佐 (IR 担当) 兼 IR 室長 平 伸二

IRer 募集中

私たちと共にデータ分析にご協力いただける方を募集中です。

目次

巻頭言	1
活動報告 1	2
活動報告 2	2
お知らせ・イベント	3
Karin のバージョンアップ	3



活動報告 1 第 8 回大学 IR 集中講習会 (会場：東京国際フォーラム)

2月27日(水)・28日(木)に、東京国際フォーラムにて第8回大学IR集中講習会が、「大学のレピュテーション・マネジメントの推進のためのIRの活用のあり方に関する研究(研究課題番号:18K02705)」(研究代表者:高田英一(神戸大学))の主催で開催されました。大学IRに関する技術的知識とIR部署の運営に関する知見を得ることを目的に受講し、他大学のIR担当者と情報交換を行いました。

講習会では6つの講演と1つのワークショップが実施されました。講演では、BIツールの効果的な利活用など技術的な話題、データ分析とそれに基づくIR情報をもとに中退防止策の立案の話題、レピュテーションマネジメントを考察する話題や、IR人材の育成など組織運営の話題がそれぞれ提供されました。講演の後、グループに分かれ大学IRの課題について講演内容を振り返って議論しました。IRの基本事項から大学運営への活用まで網羅的に学習することができました。(記谷 記)

活動報告 2 SD 研修「大学と IR ～現状と課題～」 主催 大学教育センター

講師 広島大学高等教育開発研究センター副センター長 村澤昌崇 准教授

3月8日(金)に広島大学高等教育開発研究センター准教授の村澤昌崇先生を講師にお招きし、第4回SD研修会が開催されました。村澤先生は高等教育が御専門で、広島大学をはじめ、他大学のIR研修で講師を務められるなど幅広く活動されています。以下は、本学教育センター教育開発部門長の佐藤英治教授(薬学部)からいただいた報告をもとにまとめたものです。



1) なぜ、IRが必要なのか？

大学を取り巻く環境変化(少子化、国際化、多様化などの外部環境の変化、大学の経営環境、政府からの改革の要請など)から必要になっています。

2) 大学はどのような情報収集と分析をしなければならないのか？

「数値(客観的データを用いること)」、「入口～出口・教育研究管理運営(入学～卒業までを含めた教育研究全体を含むこと)」、「経年(一時的なものではなく継続的に分析すること)」、「専門的分析・組織・情報システム(専門性を有すること)」が情報収集と分析のポイントになります。

3) 戦略・実践・評価・フィードバックのプロセスはどのようにするのか？

最終成果を達成するためには、階層化された業務の各レベルで目標・計画と指標を作成して活動状況を評価していくことが重要です(ログフレーム・ロジックモデル)。ただし、そこには全体像を見渡すことができるマネージャーが存在し、マネージャーを中心として全体として整合性のある目標・計画と指標を作成することが求められます。

○講演の後、質疑、討論

質問)大学間に共通する(標準化された)指標と、大学独自の指標とではどちらがよいのか？

回答)独自のデータにより作成された指標が理想的です。共通する指標の試みも行われていますが、データの取り扱いなどで問題もあります。

研修会のまとめ

今回のSD研修会では、IR活動が今後の大学運営に必須の活動であることを理解すると同時に、片手間でできる業務ではないことを認識することができました。大学運営の全体像を把握し、目標を設定し、その目標達成のためのレベルを設定し、各レベルに適切なデータ収集と評価計画を立案・実施する必要があります。大学教育センターでは今後も大学をよくするためのSD研修会を開催し、大学改善を行っていきたいと考えています。(佐藤英治大学教育センター教育開発部門長の報告より)

お知らせ・イベント

■大学評価・IR 担当者集会 2019

主催：大学評価コンソーシアム

共催：国立大学法人神戸大学

日時：2019年8月22日(木)10:30~17:50 および 8月23日(金)9:30~16:30

会場：神戸大学 六甲台第1キャンパス (兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1)

会場の詳細は、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokko/rokkodai-dai1.html>

Karin のバージョンアップ (運用再開は、2019年5月11日から)

2019年3月18日より、福山大学キャビネット Karin はサーバメンテナンスのために、運用を停止しておりご迷惑をおかけいたしております。進捗状況ですがこちらで予定していたメンテナンスは、順調に進んでいます。

2019年5月11日には、平成から令和に代わるとともにメンテナンスを終えた福山大学キャビネット Karin をご利用いただけます。その運用に先立ち、メンテナンス後の使用感をお知らせいたします。



Point 1 : 画面表示について

Karin にログインした際に、最初に表示されるページ画面のデザインを刷新しました。(編集後記上の画像参照)

このページでは、作業内容に合わせて「情報公開」「IR室」「日常業務」「申請書類」と分類し作業の効率化を図り、多くの方に使っていたできるようにと工夫いたしました。

Point 2 : ファイルのアップロード機能の強化

今までは、「ファイル単位」でしかファイルのアップロードできなかったのですが、メンテナンス後は、「フォルダ単位」でのアップロードもできるようにいたしました。ただし、フォルダ単位でのダウンロードの機能はありません。

Point 3 : 検索機能

今回のメンテナンスで、検索機能を強化し、全文検索(ファイル名だけでなくファイルの中に含まれる文字の検索)をしていただけるようにいたしました。

ここにあげた以外にも、利用できそうな機能の動作の確認がとれたらこっそりと、新しい機能を追加しているかもしれません。

ぜひ、2019年5月11日の再稼働後に、ご自身で見て、触って、確かめてみてください。(片桐 記)

Karin ログインアドレス

<https://cabinet-karin.fukuyama-u.ac.jp/>

注) ログイン時は、全学共通 ID と同パスワードを入力してください。

編集後記

2019年度がはじまり IR 室も発足2年目となりました。Karin をバージョンアップし、データ集約に向けての準備が進んでいます。今年度も IR 情報の活用が展開できるよう、この IR ニュースを通じて広報に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

IR ニュース <第3号>

2019年4月末日発行

編集	IR 室
編集委員	平 伸二
	占部 逸正
	片桐 重和
	記谷 康之

ご意見・ご要望がございましたら下記までご連絡ください。

Email : irwg@fukuyama-u.ac.jp